



「作品作りなら専門家に、作品を  
売るなら商売人とつるんだよ。」

去年に引き続き、なはーとさんとサピラさんが出張版なはーとダイアログを真和志高校で開催してくださいました。(上台詞は前田さん)

「時間や提出期限を守れない人は、アーティストでもハブられます(笑)」

今年も真和志高校で開催された、なはーとダイアログ。今回ご登壇された作家さんは、須藤さん、ヨナハさん、ASUKAさん、前田さんの合計4名。それぞれ色々な活動をされているということもあり、生徒も興味津々で質問を沢山投げかけていました。高校生だから聞けるアーティストの話(お金の話や進路の話)は、将来の選択をするときに役立つお宝ばかりでした。

イラストレーター・デザイナーのヨナハさんは、高校時代の進路についての質問で「将来の夢はコレしかないと思ってたけど、実際はいろんなバイトをして自分も普通の仕事できるじゃん!と思えた。なので、皆さんもイラストしかない!みたいな視野を狭めないでください」と高校生へのアドバイスを含めた回答をしてくださいました。

本会終了後、生徒へ何名か感想を含めたインタビューをしました。

質問「一番印象に残っていることは?」  
1年男子「イラストレーターとか、一日中絵を描いていると思っていただけ、実際は副業なんかをして稼いでギリ生活できていると知ったこと。」、「自分とプロが同じ考えをしているところがあって、同じ取り組みが出来るんだと分かってホッとしたこと」

質問「話を聞く前と後で、ギャップみたいなものを感じたお話はありましたか?」  
1年男子「夢はちゃんと決まっていなくても、その時その時に本気で向き合っていたら、意外と形になっていってお金を稼ぐことが出来るんだって思ったことです。」  
今回の講話は一年生が聞いていたこともあり、自分の将来について新しい考え方を知る良い機会になったと思います。



作品を見つめる一年生

作品と技法のコンセプトが違うという話を聞きながら、紹介された作品に興味津々な一年生。和やかな座談会となりました。

閲覧ありがとうございます

